

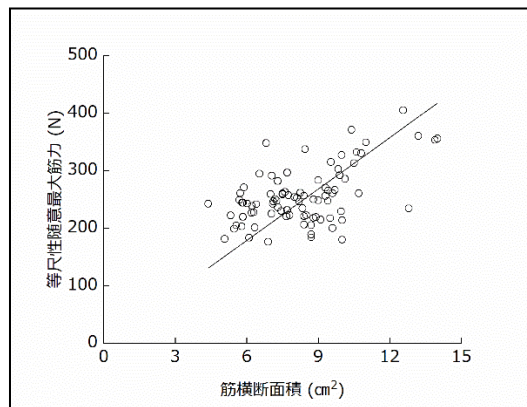
令和7年度鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）
入学者選抜試験 論述試験問題

A. 共通問題

国際オリンピック委員会では、オリンピック競技大会およびユースオリンピック競技大会の核となる目標として、オリンピズムの3つの本質的価値を定めている。そのオリンピズムの3つの本質的価値について定められている内容について、どのようなことが書かれているか説明せよ。

B. 選択問題

問題番号1 下図は、筋横断面積と等尺性随意最大筋力との関係を表したものである。この図から読み取れることをすべて記述せよ。また、下図の内容を踏まえて等尺性随意最大筋力を向上させるためのレジスタンストレーニングの方略を2つ挙げ、それぞれトレーニングプログラム等を具体的に説明せよ。



問題番号2 スポーツをマーケティングする際、適切なマーケティング・ミックスのプロセスが欠かせない。このプロセスにおいては、マーケティングの4つのP（4P）の最良の組み合わせを考え実行していくことが必要であるが、このマーケティングの4Pそれぞれについて、スポーツに関する具体例を用いながら説明せよ。なお、この4Pは最も伝統的で基本的な4Pとする。

問題番号3 これまで脈拍測定した経験が浅い初心者に対して、人の安静時の「脈拍の測定方法」を平易に説明せよ。ただし、下記の1)～3)をふまえて、測定の手順、コツなどを含めて述べよ。

- 1) 道具は時計しかなく、脈拍測定する時間は15秒間までとする。
- 2) 説明する対象者は、動脈の名称や部位を知らないので教える必要がある。
- 3) 説明する対象者は、18歳以上とする。